

天天天天天天

磨崖仏瀧音轟轟夏近し (寶州) 1
 入学や亀一列に甲羅干し (西田) 1
 山門の奥に声あり若緑 (門屋) 1
 故郷の母思いつつ粽くふ (西田) 1
 風薫る空は光の粒子満ち (靈峰) 1
 夜も匂ふ新樹の中の警備かな (淨淵) 1
 クレシヨンのどの色取るか山若葉 (宗道) 1

今回は点が割れました。3点の7句を「天」とさせていただきます。

靈峰九拜

- 1 月涼し影絵の如き大樹かな (徹心) 1
 2 磨崖仏瀧音轟轟夏近し (寶州) 3
 3 香焚くや紫煙をまとふ百合の花 (篠原) 2
 4 春の浜ハンダルの瓶流れ着く (白堂) 2
 5 亀鳴くや今日もこの道歩きけり (門屋) 2
 6 廃屋を覆ひ尽くせる新樹かな (淨淵) 2
 7 薔薇園のバラたちに見つめられに行く (靈峰) 1
 8 入学や亀一列に甲羅干し (西田) 3
 9 鯉幟唯パタパタとパタパタと (無傳)
 10 芽柳のもの言ひたげな薄暮かな (宗道) 1
 11 茄子三切れカレーライスはピリッ辛 (白堂)
 12 木の芽晴れ鳶中天に止まれり (門屋)
 13 廃校の残りし樹木に夏の月 (徹心) 1
 14 了入の茶碗の傷跡ガクウツギ (寶州)
 15 拾着し考の煙管の音かすか (淨淵) 1
 16 風止みて目刺しに似たり鯉のぼり (白雲) 1
 17 麦秋を尻目に貨物列車かな (靈峰) 1
 18 鯉幟風のない日は一休み (無傳) 1
 19 ぼうたんの白に魅せられ立ち尽くす (宗道)
 20 松枯れや植えし小松の新芽かな (西田) 1
 21 山門の奥に声あり若緑 (門屋) 3
 22 蜘蛛の子の散るが如きの園児かな (徹心) 1
 23 菖蒲湯や一番風呂に束香る (白雲) 1
 24 軒下のすずめも見上ぐ走り梅雨 (篠原) 1
 25 式典にどっしり腰据え熊谷草 (寶州)
 26 大瑠璃や鼻孔くすぐる新樹光 (淨淵)
 27 避雷針まで届きそう樟若葉 (宗道) 1
 28 てっせんの咲きて門前人止まり (白雲)
 29 母の日や畳み置かれし包装紙 (靈峰) 1
 30 潮干狩り子らが来て歓声あげる (西田)
 31 夏の夜や板木打つ寺遠きかな (徹心)
 32 華府の花はるかに思ひ水木咲く (宗道)
 33 故郷の母思いつつ粽くふ (西田) 3
 34 風薫る空は光の粒子満ち (靈峰) 3
- 35 新緑の下湧き水を今朝も汲む (白堂) 2
 36 小綬鶏や突如鋭く若葉風 (寶州)
 37 白壁の紅ばら沿いて白さかな (門屋)
 38 豪邸や贅を尽くして松茂る (白雲)
 39 夜も匂ふ新樹の中の警備かな (淨淵) 3
 40 麦の秋早麦の秋車窓かな (寶州)
 41 ひんがしに正座して出す柏餅 (篠原) 1
 42 校庭の弾む声あり楠若葉 (門屋) 1
 43 雨蛙腹式呼吸教えけり (徹心) 1
 44 樟若葉山全体に化粧かな (西田)
 45 クレヨンのどの色取るか山若葉 (宗道) 3
 46 行儀良く筒飯を待ちにけり (靈峰) 1
 47 拾着し老友の背の凜として (淨淵) 2
 48 鯉幟子らに応えて宙返り (無傳) 1
 49 情熱の白蓮の恋つつじ燃ゆ (白雲) 2
 50 ヨモギ葉を摘み摘み家路遠きこと (白堂) 1



※次回句会は十五日(日)撰心会内了の後にいきます。処理の都合で事前投句といたしますので、六月十日(火)必着をお願いします。